

# 第2編

第3期ふるさと秋田農林水産ビジョンの

# 目指す姿





## 第2編 第3期ふるさと秋田農林水産ビジョンの目指す姿

## 第1章 目指す姿

着実に成果が現れてきている「米依存からの脱却」、「複合型生産構造への転換」に向けたこれまでの取組をもう一段ステップアップし、本県農業の構造改革を確かなものとしていきます。加えて、国の農政改革等による産地間競争の激化や、人口減少を背景とした労働力不足など、社会情勢の変化に的確に対応するため、新たな視点を踏まえながら、農林水産業の成長産業化への取組を加速化します。

林業・木材産業については、木材の新たな市場の開拓等による需要拡大や、川上から川下まで競争力の高い木材・木製品の安定的な供給体制の整備を促進し、全国屈指の木材総合加工産地として更なる発展を図ります。

水産業については、「全国豊かな海づくり大会」を契機として、本県水産業の魅力を全国に発信するとともに、リニューアルされる水産振興センター栽培漁業施設を活用したつくり育てる漁業の推進等により、浜の活性化を図ります。

## 1 施策の視点

本県農林水産業の成長産業化に向けた取組を加速させるため、次の視点を踏まえながら施策の展開を図ります。

- 農政改革や国際通商協定の締結等を背景とした産地間競争の激化を見据え、生産から流通・販売にわたる構造改革に継続的に取り組む必要があります。
- 労働力人口の減少を背景とした、我が国の労働集約型産業等における構造的な人手不足に対応する必要があります。
- ICTやAI、ロボット等の革新技术を駆使し、生産性が飛躍的に向上する次世代型農林水産業に取り組む必要があります。

## 2 おおむね10年後の姿

- 県内外の多様なルートから次代を担う新規就農者が確保・育成されているほか、100haを超える大規模農業法人等トップランナーが県全域で経営展開するなど、県内農業をリードする競争力の高い経営体が数多く活躍しています。
- 販売を起点とした売れる秋田米、秋田の強みを生かした野菜や果樹、花き、畜産物、魚介類など、県産品全体のブランド化が進み、国内外での競争力が高くなっているほか、企業とタイアップした流通・販売体制の構築や、食品加工業や観光業などと連携した6次産業化の進展などにより、販売額全体が大幅に伸びています。
- 丸太の効率的な生産・流通システムの構築や木材加工企業等の施設導入が進み、競争力の高い木材総合加工産地が整備されているほか、秋田スギを活用した新たな木質部材等による需要拡大が多方面で進んでいます。

第2編 第3期ふるさと秋田農林水産ビジョンの目指す姿

# 第2章 第3期ふるさと秋田農林水産ビジョンの概要

## 【現状と課題】

- ◆ 複合型生産構造への転換の加速化
  - ・メガ団地等の大規模園芸拠点の全県展開による産地拡大
  - ・秋田牛ブランドを支える肥育素牛の生産体制強化
- ◆ 米政策の見直しに対応した攻めの米づくりの推進
  - ・県産米シェアの拡大や高まる業務用需要等への対応
- ◆ 地域農業を牽引する担い手の育成
  - ・経営規模の拡大や複合化の推進による経営基盤の強化
  - ・多様なルート、幅広い年齢層からの新規就農者の確保
- ◆ 農産物の販売力強化に向けた流通販売体制の整備
  - ・企業による産地囲い込みなど新たな動きへの対応
- ◆ 地域を生かす中山間地対策
  - ・中山間地域の資源を生かした特色ある取組の拡大
- ◆ 「ウッドファーストあきた」の促進
  - ・競争力の高い木材・木製品による新たな市場の開拓
- ◆ 水産物のブランド確立と新たな水産ビジネスの展開
  - ・つくり育てる漁業による資源増大・収益アップ

## 【施策及び数値目標】

### 施策1 秋田の農林水産業を牽引する多様な人材の育成

《主な数値目標》

■ 農業法人数（認定農業者）

現状(H28実績) 576法人 → [目標値(H33)] 850法人

■ 担い手への農地集積率

現状(H28実績) 73.2% → [目標値(H33)] 83.0% など

### 施策2 複合型生産構造への転換の加速化

《主な数値目標》

■ 主要園芸品目の系統販売額

現状(H28実績) 160億円 → [目標値(H33)] 212億円

■ 畜産産出額

現状(H27実績) 352億円 → [目標値(H33)] 411億円 など

### 施策3 秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用

《主な数値目標》

■ 全国に占める秋田米のシェア

現状(H27実績※) 5.47% → [目標値(H33)] 5.66%

※H23～27年の最高と最低値を除いた3年平均

■ 米の生産費(10ha以上の作付け規模の全算入生産費)

現状(H27実績) 10,500円/60kg → [目標値(H33)] 9,000円/60kg など

## 【施策のねらい】

本県農林水産業の経営基盤の強化を図るため、県外からの移住就業を含め、次代をリードする多様な人材の確保と競争力の高い担い手の育成を加速する。

本県農業の成長産業化に向け、産地間競争を勝ち抜く攻めのトップブランド産地の形成を進め、収益性の高い複合型生産構造への転換を加速する。

米政策の見直し等を踏まえ、広大な水田をフルに活用し、基幹作物である水稲の需要に基づいた生産と、大豆や園芸等の戦略作物の生産拡大を促進する。

**【目指す姿】**

- 国の農政改革等による産地間競争の激化や、人口減少を背景とした労働力不足など、社会情勢の変化への的確な対応による農林水産業の成長産業化。
- 着実に成果が現れてきている「米依存からの脱却」、「複合型生産構造への転換」に向けたこれまでの取組をもう一段ステップアップし、本県農業の構造改革を実現。
- 林業・木材産業については、木材の新たな市場の開拓等による需要拡大や、川上から川下まで競争力の高い木材・木製品の安定的な供給体制の整備による全国屈指の木材総合加工産地としての更なる発展。
- 「全国豊かな海づくり大会」等を契機として、本県水産業の魅力を全国に発信するとともに、リニューアルされる水産振興センター栽培漁業施設を活用したつくり育てる漁業の推進等による浜の活性化。

**【視点】**

- 農政改革や国際通商協定の締結等による産地間競争の激化を見据えた、生産から流通・販売にわたる構造改革の継続的な推進。
- 労働力人口の減少を背景とした、我が国の労働集約型産業等における構造的な人手不足への対応。
- ICTやAI、ロボット等の革新技術を駆使し、生産性が飛躍的に向上する次世代型農林水産業への取組に挑戦。

**【施策の方向性】**

- ① 秋田の農業をリードする競争力の高い経営体づくり
- ② 幅広い年齢層からの新規就業者の確保・育成
- ③ 多様なルートから秋田に呼び込む移住就業の促進
- ④ 農業労働力の安定確保と農作業軽労化の促進
- ⑤ 秋田で活躍する女性の活動支援

- ① 園芸や畜産の大規模生産拠点を核とした戦略作物の更なる生産拡大
- ② 「しいたけ」や「えだまめ」など日本一を目指す園芸産地づくり
- ③ 秋田のオリジナル品種による果樹・花きの生産振興
- ④ 秋田牛や比内地鶏など秋田ブランドによる畜産振興
- ⑤ 先端技術と融合したアグリテックによる生産効率の向上
- ⑥ 秋田の農林水産業の発展を支える研究開発の推進

- ① 業務用や特定需要など実需と結びついた米づくりの推進
- ② 次代を担う秋田米新品種デビューと販売対策の強化
- ③ 省力化技術やICT導入による超低コスト稲作経営の確立
- ④ 複合型生産構造への転換を支える基盤整備の促進
- ⑤ 水田フル活用による自給力の向上

**【主な取組】**

- 大規模農業法人等トップランナーの育成
- 幅広い年齢層を含む多様なルートからの新規就業者の確保・育成
- 秋田林業大学校の充実・強化による即戦力となる人材の育成
- 移住就業希望者に対するトライアル研修の実施
- 先進的な労働力調整モデルの展開とサポート体制の構築
- 大規模園芸経営体の効率的な生産・労務管理手法の確立
- ロボット技術等による省力化・軽労化対策の強化
- アグリビジネスの展開を通じた女性が活躍できる環境づくり

- メガ団地等の大規模園芸拠点の全県展開
- 日本一を目指す「しいたけ」の生産振興と販売促進
- 出荷量日本一の「えだまめ」の更なるチャレンジ
- ねぎやダリアなど秋田の強みを生かした品目のトップブランド化
- 市場性の高い果樹・花きの県オリジナル品種の生産拡大
- 大規模畜産団地の全県展開
- 国内外における秋田牛の認知度向上
- 比内地鶏の品質の高位平準化や、食味の高さなどのストロングポイントの訴求
- スマート農業による園芸生産システムの実証・普及
- 先端技術を活用した新たな果樹生産システムの実証・普及

- 販売を起点とした秋田米生産・販売戦略の推進
- 多様なニーズに機動的に対応できる米産地の確立
- 秋田米をリードする新品種の開発とデビュー対策の実施
- 最新技術を駆使した生産技術体系の実証・普及
- 産地づくりと一体となったほ場整備の推進
- 高品質・高収量を実現する地下かんがいシステム等の整備
- 収益性の高い戦略作物による多様な水田農業の展開

**【施策及び数値目標】**

**施策4 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化**

《主な数値目標》

- 6次産業化事業体販売額  
現状(H27実績) 143億円 → [目標値(H33)] 200億円
- 農産物の輸出額  
現状(H28実績) 106百万円 → [目標値(H33)] 131百万円 など

**施策5 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化**

《主な数値目標》

- 素材生産量(燃料用含む)  
現状(H28実績) 1,470千㎡ → [目標値(H33)] 1,700千㎡
- スギ製品出荷量  
現状(H28実績) 591千㎡ → [目標値(H33)] 706千㎡ など

**施策6 つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興**

《主な数値目標》

- 海面漁業協同組合員1人当たりの漁業生産額  
現状(H28実績) 2,880千円 → [目標値(H33)] 3,170千円
- つくり育てる漁業の対象魚種の漁業生産額  
現状(H27実績) 9.7億円 → [目標値(H33)] 10.7億円 など

**施策7 地域資源を生かした活気ある農山漁村づくり**

《主な数値目標》

- 中山間地域資源活用プラン策定地域数(累積)  
現状(H28実績) 37地域 → [目標値(H33)] 60地域
  - 水と緑の森づくり推進事業参加者数(累積)  
現状(H28実績) — 百人 → [目標値(H33)] 847百人
- ※目標値は、H30年度以降に始まる「秋田県水と緑の森づくり税事業」第3期5箇年計画(H30～34)を基に新たに設定 など

**【施策のねらい】**

J A等による農産物の加工・販売や、異業種との連携強化による新たなビジネスの創出など、6次産業化を総合的に推進する。

中食・外食企業による産地囲い込みなどの新たな動きや多様なニーズに的確に対応できる流通・販売体制を整備するとともに、国内外への販路拡大を図る。

林業・木材産業の成長産業化により、全国屈指の木材総合加工産地としての地位向上を図るため、木材の新たな市場開拓等による需要拡大や、川上から川下まで競争力の高い木材・木製品の安定的な供給体制の整備を促進する。

県魚ハタハタをはじめ、新たな魚種を含めたつくり育てる漁業による資源の維持・増大や、広域浜プランに基づく生産の効率化及び流通の合理化などにより、水産業の振興を図る。

優れた景観を有する里地里山が県民共有の財産として後世に引き継がれるよう、地域資源を最大限に活用しながら、中山間地域の農業と農山漁村の維持・発展に取り組むとともに、災害から県民の生命と財産を守るため、防災・減災力の強化を図る。

【施策の方向性】

- ① 異業種連携による6次産業化の促進
  - ② 企業とタイアップした流通・販売体制の構築
  - ③ 秋田の強みを生かした農林水産物の輸出促進
  - ④ 秋田の「食」の柱となるオリジナルな商品の開発とブランディング
  - ⑤ 秋田のうまいもの商品力向上と販路の拡大
  - ⑥ エリアやターゲットを戦略的に選定した秋田の「食」の輸出拡大と、独自性の高い誘客コンテンツとしての活用
  - ⑦ GAP等による安全・安心対策の強化と環境保全型農業の推進
- ※④～⑥ 観光文化スポーツ部の施策

【主な取組】

- JAによる6次産業化の促進と異業種連携の強化
- 中食・外食企業等との連携による流通・販売体制の構築
- ターゲットを絞った秋田の農林水産物の輸出促進
- 秋田の強みを生かした次世代の商品開発
- 幅広いパートナー企業と連携した売り込みの強化
- 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした県産材の供給拡大
- 秋田スギ家具をはじめとする県産材の海外展開
- 農業生産工程管理（GAP）の普及拡大
- 秋田の食の魅力発信と地産地消の推進

- ① 秋田スギを活用した新たな木質部材等による需要拡大
- ② 林業の成長産業化に向けた生産・流通体制の強化
- ③ 産地間競争に打ち勝つ木材総合加工産地づくりの推進
- ④ 次代の秋田の林業をリードする人材育成

- 県民に対する木材の優先利用の働きかけ
- 新たな木質部材の開発・普及と木質構造等に精通した人材育成
- 路網と高性能林業機械の整備促進
- 皆伐・再造林の取組推進
- 木材加工施設の整備・拡充による生産力の強化と低コスト供給体制の構築
- 丸太の用途別需要に応じた流通システムの整備

- ① つくり育てる漁業の推進による水産資源の維持・増大
- ② 秋田の海・川資源を生かした水産ビジネスの展開
- ③ 次代を担う漁業者の確保・育成
- ④ 漁港等生産基盤の整備促進
- ⑤ 「全国豊かな海づくり大会」等を契機とした水産業の活力向上

- 収益性の高い種苗生産・放流による資源の維持・増大
- 栽培漁業施設の整備と機能強化
- 科学的データに基づく適切な資源管理による漁獲量の安定化
- 秋田の地魚を使った加工品開発の促進と販路拡大
- 就業相談から自立経営までの一貫支援による漁業者の確保・育成
- 次代を担う中核的な漁業者の確保・育成
- 漁港施設の計画的な整備と長寿命化等の促進
- 地魚や漁村文化等の魅力発信と未来への継承

- ① 多様な資源を生かした地域ビジネスの展開
- ② 里地里山の保全管理と鳥獣被害対策の強化
- ③ 森林の多面的機能の高度発揮
- ④ 地域を守る防災・減災対策と施設の保全管理の強化

- 中山間地域の資源を生かした取組への支援
- 農家レストランや農家民宿など多様なアグリビジネスの取組拡大
- 農作物の鳥獣被害対策の強化
- 条件不利地域における営農継続に向けた支援
- 地域コミュニティの持続的な発展を支える仕組みづくり
- 松くい虫やナラ枯れ被害等の森林病虫害対策の推進
- 生命と財産を守る安全・安心な地域づくり

